

〔昭和二十年三月〕

文甲第一九号  
案 起 昭和二十年三月十八日  
閣議 昭和二十年三月十八日 施  
裁定 昭和 年月日 行 昭和二十年三月十八日 指令

(注記1)

内閣総理大臣 花押 <small>(小磯)</small>	内閣書記官長 花押 <small>(星野)</small>
外務大臣 花押 <small>(重光)</small>	大東亜大臣 花押 <small>(重光)</small>
海軍大臣 花押 <small>(米内)</small>	石渡國務大臣 花押 <small>(米内)</small>
内務大臣 花押 <small>(天邊)</small>	農商大臣 花押 <small>(島田)</small>
司法大臣 花押 <small>(松野)</small>	町田國務大臣 花押 <small>(町田)</small>
大蔵大臣 花押 <small>(津島)</small>	軍需大臣 花押 <small>(吉田)</small>
文部大臣 花押 <small>(児玉)</small>	緒方國務大臣 花押 <small>(緒方)</small>
陸軍大臣 花押 <small>(杉山)</small>	運輸通信大臣 花押 <small>(前田)</small>
厚生大臣 花押 <small>(相川)</small>	

(注記2)

別紙文部大臣請議  
決戦教育措置要綱  
右閣議ニ供ス

指令案

〔例文〕 決戦教育措置要綱請議ノ通但シ要綱別紙ノ通

發給五六号

請議

現下緊迫セル情勢ニ鑑ミ決戦教育体制確立ノ要ヲ認メ別紙案ヲ具シ閣議ヲ乞フ

昭和二十年三月十七日

決戦教育措置要綱(案) 昭和二〇、三、一八

第一方 針

現下緊迫セル事態ニ即応スル為ニ学徒ヲシテ国民防衛ノ一翼ヲラシムルト共ニ真摯生産ノ中核タラシムル為ニ左ノ措置ヲ講ズルモノトス

第二 措置

一、全学徒ヲ食糧増産、軍需生産、防空防衛、重要研究其ノ他直接決戦ニ緊要ナル業務ニ総動員ス

二、右目的達成ノ為ニ国民学校初等科ヲ除キ学校ニ於ケル授業ハ昭和二十年四月一日ヨリ昭和二十一年三月三十一日ニ至ル期間原則トシテ之ヲ停止ス(抹消)但シ此ノ期間中ト雖モ情況之ヲ許ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

国民学校初等科ニシテ特定ノ地域ニ在ルモノニ対シテハ昭和二十年三月九日閣議決定学童疎開強化要綱ノ趣旨ニ依リ措置ス

(抹消) (註) 授業ヲ停止スル学校ノ校舍ハ学校工場トスルモノノ外緊急ナル用途ニ転用スルモノトス

三、学徒ノ動員ハ教職員及学徒ヲ打ツテ一丸トスル学徒隊ノ組織ヲ以テ之ニ当リ其ノ編成ニ付テハ所要ノ措置ヲ講ズ但シ戦時重要研究ニ従事スル者ハ研究ニ専念セシム

四、動員中ノ学徒ニ対シテハ農村ニ在ルカ工場事業場等ニ就

業スルカニ応ジ劳作ト緊密ニ連繫シテ学徒ノ勉学修養ヲ適切ニ指導スルモノトス

五、進級ハ之ヲ認ムルモ進学ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

六、戦争完遂ノ為ニ特ニ緊要ナル専攻学科ヲ修メシムルヲ要スル学徒ニ対シテハ学校ニ於ケル授業モ亦之ヲ継続実施スルモノトス但シ此ノ場合ニ在リテハ能フ限り短期間ニ之ヲ完了セシムル措置ヲ講ズ

七、本要綱実施ノ為ニ速ニ戦時教育令(仮称)ヲ制定スルモノトス

備考

一、文部省所管以外ノ学校、養成所等モ亦本要綱ニ準ジ之ヲ措置スルモノトス

二、第二項本文ハ第一項ノ動員下令アリタルモノヨリ逐次之ヲ適用ス

三、学校ニ於テ授業ヲ停止スルモノニ在リテハ授業料ハ之ヲ徴集セズ

学徒隊費其ノ他学校経営(加筆)〔維持〕ニ要スル経費ニ付テハ(抹消)〔学徒勤労報償額及〕(加筆)〔別途措置スルモノトシ必要ニ応ジ〕国庫負担ニ依リ支弁セシムルモノトス

(抹消) 〔四〕 別途義勇奉公隊(仮称)ガ組織サルル場合ニ於テ学徒隊ガ義勇奉公隊ノ目的トスル業務ニ出動スル場合ニ在リテハ其ノ一翼トシテ出動スルモノトス

(注記1)

「函」

(注記2)

〔(未書)〕(簿冊内件名番号)

〔公文類集 第六十九編 卷五十七 昭和二十年  
学事門 大学 中央大学 2A, 13, ㊟2941  
録 録〕